

大阪市立 築港中学校

所在地 〒552-0021 港区築港1丁目2番41号

TEL 06-6575-3092

FAX 06-6575-2463

校長名 西村 有里 (にしむら ゆり)



学校の紹介・校長メッセージ

昭和53(1978)年に港区で5番目の中学校として開校し、47年目を迎える伝統ある学校です。正門にある立派な桜と、色とりどりのプランターの花が来校者を迎えます。玄関を入ると広々としたビロティがあり、校舎は老朽化してきていますが清掃活動は行き届き、美しさを保っています。敷地は広く、校舎を抜けると芝生広場・体育館・プール・格技室・テニスコートがあります。

校区には、海遊館をはじめ天保山や赤レンガ倉庫(クラシックカーミュージアム)など、魅力ある築港ベイエリアが広がり、教育環境としてとても充実しています。海遊館の協力のもと研究プロジェクトチームを立ち上げて交流学习会を行っており、その研究成果は全国大会において優秀賞を受賞しました。

校訓

「自主」「協調」「責任」

学校教育目標

変化の激しい社会を生き抜く力と対応する力をもった生徒を育成する。

めざす生徒像

総合的な人間力を身に付けた生徒

- 自ら考え、学び、創造する生徒
- お互いに違いを認め合い、助け合う生徒
- 協調性をもって社会と関わり生きていける生徒

めざす教員像

No Child left Behind!

- 豊かな人間性と思いやりのある教員
- 子どもの良さや可能性を引き出し、伸ばすことができる教員
- 責任感・協調性があり、互いに高め合う教員

現在の小学校6年生で令和7年度築港中学校の入学生は、
2年間築港中学校で学校生活を送ることになります。
中学校3年生の1年間は、現在の港中学校の校地に新設される
新中学校(校名未定)に通学することになります。

その点をご理解の上で、本校の選択をお願いいたします。

運営に関する計画

【安全・安心な教育の推進】

- 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する生徒の割合を78%以上にする。
- 年度末の校内調査における「学校へ行くのが楽しい」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を98%以上にする。
- 年度末の校内調査における「友だちの気持ちを考え、友だちを大切にしている」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を93%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの

学年も前年度より0.01ポイント向上させる。

- 大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を56%以上にする。
- 年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を53%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、生徒の8割以上が学習用端末を活用した日数が年間授業日の50%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く]

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

平均正答率(%)		
国語	数学	英語
77	50	46

〔国語〕 全国と比較して、いずれの領域においても、大きく上回ることができた。今後も、授業だけでなく、家庭学習の課題や小テストなどを通して、多くの領域にわたって学習を進めるように努めたい。

〔数学〕 全国と比較して、「図形」「関数」の領域において、

上回ることができた。「数と式」「データの活用」の領域においては、下回った。今後は、「振り返りプリント」を活用し、「数と式」「データの活用」の領域の理解を深める。
〔英語〕 全国と比較して、「聞くこと」「書くこと」の領域において、上回ることができた。「読むこと」の領域においては、下回った。今後も引き続き少人数の授業を実施し、学力向上をめざす。

令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状

項目	握力(kg)	上体起こし(回数)	長座体前屈(cm)	反復横とび(回数)	20mシャトルラン(回数)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	体力合計点
男子	25.78	22.33	38.00	46.67	69.00	8.11	182.33	17.63	33.50
女子	24.67	16.67	42.67	42.33	36.33	8.83	143.67	11.67	40.67

男子は、全国・大阪市と比較して、すべての種目・体力合計点において下回った。

女子は、全国・大阪市と比較して、握力・50m走で本校が上回ったが、残りの種目・体力合計点において下回った。

今後は体育館の昼休みの開放、放課後の補習での体力づくりなど、体育の授業以外の取り組みを増やしていく。補強運動について、男女とも決められた時間内にできる回数が増加しているため、今後も継続して行うことで基礎体力の向上をはかる。

令和7年度築港中学校の入学生は、中学校3年生の1年間は、現在の港中学校の校地に新設される新中学校(校名未定)に通学することになります。
本校での学校生活は2年間となりますが、他の4校には負けない魅力があります。

全校生徒57名(6月20日現在)に対し、国語・社会・数学・英語・保健体育については2名ずつの教員がおります(理科・音楽・美術・家庭は、各1名の教員。技術の教員は港中学校から週一回兼務勤務)。
少人数授業・習熟度別授業では、少ない生徒をさらに2分割し、さらに習熟度に分けて授業を行っている時間もあります。先日の数学の授業では、サポーターも入り、ほぼ一対一で寄り添って授業をしていました。

●築港中学校でしかできないこと①～海遊館部の活動について～

平成25年7月19日にスタートした活動は、今年で、12年目を迎えました。これまで、石千見漁体験(海老江干潟)・干潟生物調査(野鳥園)・干潟保全作業(野鳥園)・アカテガニ観察会(野鳥園)・第5回淀川河口域を考える会での発表(大阪港ビル)・天保山岸壁のアユ調査(海遊館)・岸壁調査(海遊館)など行いました。令和6年度は23名(全校生徒の約40%)が海遊館部に所属・参加しています。他の部活動との兼部が可能で、他の部活動の大会等の時は、大会を優先し、大会に出場することも可能です。

●築港中学校でしかできないこと②

文化祭は、部活動や教科の発表以外に、全校生徒が演劇・音楽・展示の3グループに分かれて発表します。昼休みは、学年に関係なくサッカーやドッジボールをしています。

●築港中学校でしかできないこと③

中学校によっては、毎日、図書室を開館していても、学年によって曜日や時間が制限されています。本校の図書室は、開館時は、いつでも利用できます。読書好きにはおすすめです。



▲春の渡り鳥観察会(野鳥園)



▲干潟保全作業(野鳥園)



▲天保山岸壁アユ調査



▲淀川河口域を考える会での発表を伝える新聞記事

卒業後の主な進路【過去3年間】

卒業生 R3年度35名、R4年度19名、R5年度22名 進路先の人数は過去3年間の累計で表示

公立高校等

泉尾工、今宮、今宮工、桜和、大手前、OBF、陽崎水産、教育センター附属(2)、柴島(2)、工芸、咲くやこの花(3)、桜宮、清水谷、住吉商、成城(6)、大正白根(3)、第二工芸、中央、難波支援、西野田工(3)、東、東淀川、布施北(3)、港(4)、都島工(2)、淀商(2)

私立高校等

追手門学院大手前(2)、大阪(3)、大阪学院大(3)、大阪学芸、大阪成蹊女子、香ヶ丘リベルテ、関大第一、関大北陽(2)、近大附、興国(3)、四天王寺、西大和学園、阪南大、東大阪大敬愛、プール、桃山学院(2)

専修学校等

クラーク高等学院、東朋、ルネサンス大阪(2)、就職等

学校名等の後ろの()内は2名以上の進学者等の人数を表示しています。